

<資料5> 部会を超えて取り組みを進めるテーマ

各部会・事務局で協議する中で、「1つの部会だけでは対応が難しい」「さまざまな年代に関係している」「部会を超えて協議する必要がある」というテーマについては **部会ではなく、関係課が集まって協議をしていく** という形で取り組んでいます。

テーマ	これまでの部会・策定委員会 各部会委員のアンケートでの意見	現在の状況	今後の取り組み
<p>【外国人とのコミュニケーション】</p> <p>外国人移住者が増える中で日本語が十分でなくコミュニケーションが難しい人・地域があるため対応が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人にもわかりやすく情報提供をしたり、外国人向けの情報が得られる方法を伝えたりすることが必要。 ・文化やルールの違いがあるので日本のルールを伝えるだけでなく、外国人の文化を知ることにも必要。 ・災害発生時、避難勧告や防災情報が理解できず、正しい避難行動が取れない可能性がある。支援の方法を話し合う場が必要。 	<p>【総務課】 市役所本庁各階に翻訳アプリが入ったタブレットを導入済み。 ※付き添いの方が一緒に来たり、外国人の方が持っているスマホの翻訳アプリを使用したりするケースがほとんどで、利用実績はほぼ無し。</p> <p>【環境対策課】 ごみ冊子の外国語版を作成し、R2年度に市HPへ掲載。（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タガログ語の5種類）</p> <p>【人権課】 相談があった時は県の国際交流協会を紹介している。</p> <p>【生涯学習課】 市在住の外国人の方に対するアンケートの実施。</p> <p>【商工観光課】 外国人を雇用している市内事業所への訪問等により課題把握に努めている。</p>	<p>【総務課】 令和3年度中の市のホームページのリニューアルで多言語化に取り組んでいる。</p> <p>【生涯学習課】 ・アンケート結果を参考に、令和4年度から日本語教室等を実施予定。</p> <p>【地域支援課】 自治会役員の中に外国人枠を設けている地域や、料理教室の講師に外国人を招き異文化交流を図っている地域もある。このような「地域と外国人の交流」のきっかけとなる事例を広く周知していく。</p> <p>【防災対策課】 多言語での防災気象情報や避難情報等伝達、外国人避難対応施設の設置を検討。地域の中でお互いのことを知ってもらえるように自主防災組織と連携した防災訓練などの場で考えていく。</p>

参考

香南市の外国人登録者データ（R3.12月末）

合計314人（男 159人 女 155人）

年齢別 14歳以下 16人、15～64歳 294人、65歳以上 4人

地区別 赤岡町 38人、香我美町 46人、野市町 119人、夜須町 62人、吉川町 49人

国籍 ベトナム 136人、フィリピン 49人、中国 24人、その他 韓国、バングラデシュ、カンボジア、インド 等全23カ国